

第85回全国安全週間を迎えるにあたって

リスクアセスメント等の取組を

愛知労働局長

新宅 友穂



平成24年度の全国安全週間が、

「ルールを守る安全職場 みんなで目指すゼロ災害」

のスローガンの下、7月1日から7日までの間、全国的に展開されます。全国安全週間は、「人命尊重」という崇高な基本理念の下、労働者に深く関わる産業界において「自主的な労働災害防止活動の推進」と「安全意

識の高揚と安全活動の定着」が図られることを目的として、戦中戦後の混乱期にも一度も中断することなく展開され、広く産業界へ安全の啓発の役割を担い続け、本年度85回目を迎えます。

産業安全に関係する皆様方のご理解の下、各種安全管理活動を通して安全水準は着実に向上してきておりますが、なお多くの労働災害が発生しております。

愛知県における最近の労働災害の発生状況をみますと、年ごとに増減を繰り返しながらも減少傾向にありましたが、平成23年には休業4日以上

の死者数は6573人、うち死亡者数は53人となりました。その結果、死傷者数は対前年比で1・4%の増加となり、2年連続で増加しました。2年連続の増加は平成15年、16年以來で愛知県内では7年ぶりの事態となりました。

本年は平成22年に閣議決定された新成長戦略の行動目標である「2020年までに労働災害を3割減少させること」につなげるために、また、労働者の安全と健康を図るための施策として労働災害防止を行政推進の大きな柱に据え、平成20年度から平成24年度までを計

画期間として策定した「第11次労働災害防止推進計画」の最終年度にあたり、その目標を達成するためにも労働災害を大幅に減少させる必要があります。

そのため、愛知労働局では、今年度、「労働災害の大幅減少のための実施要綱」を策定しました。その中で、6月を「労働災害防止強調月間」、12月を「死亡災害撲滅月間」として定め重点的に取り組むことを定めています。

「労働災害防止強調月間」においては、経営トップによる決意表明の働きかけを始め、特に全国的にも労働災害が増加している建築工事業、陸上貨物運送事業、小売業、社会福祉施設と愛知県内で災害の発生件数の多い食料品製造業、金属関連3業種（金属製品製造業、一般機械器具製造業、輸送用機械等製造業）を重点対象業種に設定し集中的取組を実施することと

愛知労働局のホームページ

「愛知労働局ホームページ」をご利用ください。労働基準監督署・ハローワークの地図、相談窓口、労働関係情報等掲載しております。

アドレス <http://aichi-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/>

問い合わせ先 愛知労働局総務部企画室(電話：052-972-0252)

しています。事業場の皆様には、全国安全週間準備期間及び本週間で併せて取り組んでいただきませうようお願いします。

労働災害を防止するためには、労働安全衛生関係法令に規定される最低基準としての危害防止基準を遵守するだけでなく、発生した労働災害の原因

を調査して対策を講じるという安全衛生活動から、職場内に潜むリスクを事前に洗い出し、被害の大きさと可能性の度合を評価して優先順位をつけてリスクの低減を図るリスクアセスメント等の取組への転換が求められています。

しかしながら、リスク

アセスメント等の取組は一部の事業場を除いては必ずしも定着しているとは言えない状況があり、労働安全衛生マネジメントシステムの確立をはじめとした、労使による自主的な安全管理活動の推進を図っていただくことを期待しております。

我が国の経済情勢は依然として厳しい経済状況ではありますが、いかなる経済情勢下であっても安全衛生水準と活動の低下は許されません。是非、この全国安全週間を契機に、労働災害防止の重要性について改めて認識を深めていただき、安全活動の確実な実施を図っていただきますようお願いいたします。



第85回全国安全週間スローガン

ルールを守る安全職場

みんなで目指すゼロ災害